

2025年4月26日

報道関係各位

公益財団法人日本バドミントン協会

世界バドミントン連盟役員・理事選挙に関するお知らせ

平素より本会強化事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、公益財団法人日本バドミントン協会（東京都新宿区 会長：村井満）では、世界バドミントン連盟の役員・理事改選に合わせた選挙に、立候補しておりました村井満が当選致しました事をお知らせいたします。

世界バドミントン連盟では、中国の廈門市での年次総会（The Annual General Meeting：AGM）で役員・理事選出（改選）が26日に投票が行われ、新しい役員・理事が決定いたしました。なお、役員任期は4年間になります。

【村井満のコメント】

別紙1 参照

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人日本バドミントン協会

企画本部広報：有村・牛込

Mail：press@badminton.or.jp

【別紙1】

会長 村井満の選挙後のコメント

・世界バドミントン連盟理事当選について

中国の厦門での世界バドミントン連盟（BWF）の国際会議が、今終わりました。新たな理事の選挙が今回行われ、皆様にご支援いただいたおかげで今回、世界連盟の理事に就くことができました。

実は皆さんご存知のように、私自身がバドミントン界では全くの素人というような状況ではあるものですから、今回の結果を見るといかに日本の選手や、コーチングスタッフ。そして、ヨネックスをはじめとした日本のサプライヤーさん、それからこれまで日本のバドミントンを牽引されてきた多くの加盟団体関係者の皆様、こうした皆様の日々のご努力が世界から評価され、信頼されている証だったというように強く思っています。そういう意味でも、大変嬉しく思っています。

・現在持っている課題や、それに対する具体的な活動イメージなど

今、バドミントンの国際ルールについて世界規模で大きな議論が起こっています。非常に過酷な競技で選手の疲労とかコンディショニングを考えた時や、視聴環境などの面からも試合時間が非常に長い事などから、これをコンパクトに今の21点制から15点制に移行することの是非論の議論が始まっています。世界の競技ルールに関する議論を私自身がしっかりとキャッチアップして、それを関係者の皆様にフィードバックするののも一つの役割だと思っています。

それから、バドミントンに限らず、非常に近年サステナビリティの議論なんかも世界規模で積極的な議論が起こっています。日本も積極的にサステナビリティについての活動を実践することを通じて、世界に貢献したいと思っています。

また、もう一つ、議論の中核テーマにパラバドミントンの議論があります。

今、日本バドミントン協会とパラバドミントン協会はそれぞれ独立の組織なので、この独立性を維持しながらもしっかり私の方からパラバドミントン協会へもしっかりと、こういった場での情報をフィードバックしながら連携していこうと考えています。

以上